

2009.08.23 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー



2009年

<アラン・カページ著の「弟子の道」に沿って>

## キリストの弟子 (7) 「しもべとしての弟子」

テキスト：「(イエスは) 夕食の席から立ち上がって、…たらいに水を入れ、弟子たちの足を洗って、腰にまどっておられる手ぬぐいで、ふき始められた。」(ヨハネ 13:4-5)

### A. 洗足の出来事の意義

- ・弟子作り：聖なる神が聖なる民を形成すること
- ・イエスの弟子作り：ご自分の性質を反映する者とするための訓練
- ・洗足の出来事：訓練課程のしめくくり的な意義

### B. 洗足に現わされた模範

- ・謙り：キリストの全き謙りは、師であるイエスが弟子に仕えたことで示された。
- ・愛：ユダが裏切ろうとしている事をご存知でありながら、彼を含む弟子たちの足を洗われた(1節)。それと同じ愛をもって互いを愛することを主は弟子達に求めておられる(34-35節)。この愛の輪を広げていくことが伝道。
- ・服従の模範：これに続くゲッセマネの園でイエスは父の御心に完全に従うと告白された。

### C. 弟子達の問題点

- ・プライド：プライドが邪魔をして、誰も他の弟子に仕えようとしなかった。誰が一番偉いだけが関心事だった。三年に亘って主に従い、その品性も練られたはずだったが、自己中心と傲慢は依然として残っていた。
- ・服従できない心：弟子達は大体、主に服従していた。しかし、全面的

に明け渡して全き服従の道を選んではいなかった。ユダは、主のやり方ではなく、自分のやり方を選んだ。ペテロは服従を告白したが、弱さも持っていた。

- ・愛せない心：ペテロは、主を愛し、互いを愛している積りであり、それを告白したが、ゲッセマネからは逃げ出し、大祭司の庭では主を否んだ。彼は自己愛から卒業できていなかった。

#### D. 弟子たちの弱さの克服は？

こうした弟子たちの弱さは、聖霊のみ業によって克服される。13章で問題点が示され、14-16章で解決が約束された。聖霊の業を期待しつつ、二つのことをしたい。

- ・自分の意志で、自分の全生涯を主の前に差し出す、明け渡す
- ・愛することを選ぶ、決意する（それを主が受け入れ、愛することが出来るようにして下さる）

#### <テーマソング> 「弟子となし給え」(新聖歌 404)

①弟子となし給え わが主よわが主よ  
弟子となし給え わが主よ  
心の底より弟子となし給え わが主よ

②愛を増し給え わが主よわが主よ  
愛を増し給え わが主よわが主よ  
心の底より愛を増し給え わが主よわが主よ

Lord, I want to be more loving, inna my heart, inna my heart,  
Lord, I want to be more loving, inna my heart x 3  
Lord, I want to be more loving, inna my heart,